

12th Annual Meeting of The Japanese Society of Immunotoxicology
JSIT 2005, Tokyo

第12回 日本免疫毒性学会大会

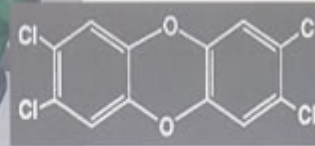
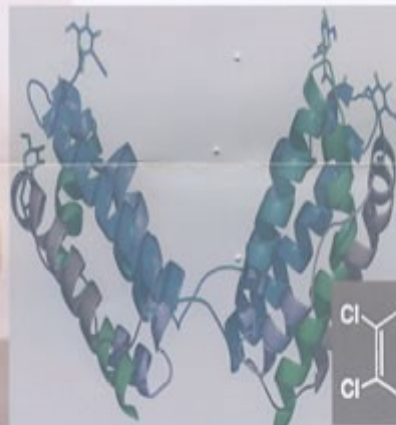
会期：2005年9月20日(火) - 21日(水)

会場：東京大学・弥生講堂(東大農学部内)

東京メトロ南北線・東大前下車<徒歩数分>



弥生土器(破片から再現された全体像)



主催 日本免疫毒性学会
共催 日本薬学会
日本トキシコロジー学会
協賛 日本産業衛生学会/
アレルギー・免疫毒性研究会

テーマ：免疫毒性研究の展開 — 個体、細胞、分子のクロストーク

特別講演 RHH Pieters (Univ. of Utrecht, Netherlands) "Immunotoxicology of Therapeutics"

森本 兼量(阪大院・医) "職業・環境関連のアレルギー・免疫毒性の予防システム"

基調講演： 免疫毒性研究 2005

シンポジウム1： ナノ粒子と免疫系

シンポジウム2： In Vitro Immunotoxicology

ワークショップ： 新しい免疫毒性

その他一般演題

大会会長 大沢 基保(帝京大・薬)

大会事務局 第12回日本免疫毒性学会大会事務局

(問合先) 〒199-0195 神奈川県津久井郡相模湖町寸沢嵐 1091

帝京大学薬学部・衛生薬学講座内 FAX 0426-85-0072 TEL 0426-85-3753

ホームページ： <http://jsit2005.umin.ne.jp>